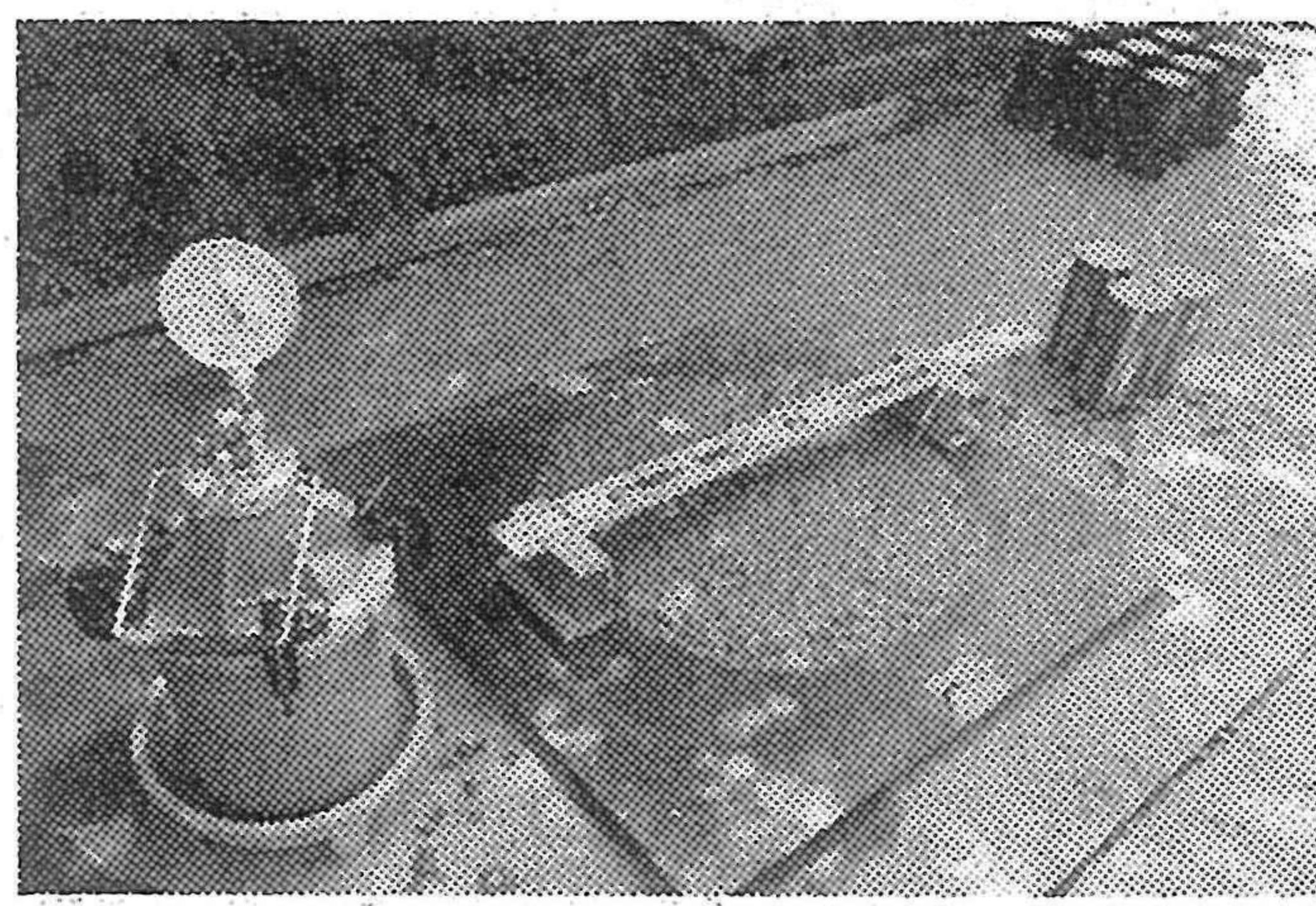


玉木大臣認定の高強度商品

福井宇部生コンクリートが県内初

福井宇部生コンクリート（福井市上森田5丁目11105番地）の南谷哲彦代表取締役社長）はこのほど福



井県内で初めて国土交通大臣認定の高強度・高流動コンクリートを納入した。

今コンクリートの適

用は福井大学医学部付属病院の病棟新営工事における免震基礎で、国交大臣認定のコンクリートは高強度が必要とされるほか充填性や平滑性といった高流動性、耐久性なども同時に求められる。免震建築物において最も重要な接合部で万一千、施工不良があった場合、地震時に所定の免震性能が發揮されない恐れも生じる。特に免震基礎とベースプレ

ートの間のコンクリートの品質は極めて重要で、この部分のコンクリートは高強度が必要とされるほか充填性や平滑性といった高流動性、耐久性なども同時に求められる。免震建築物において最も重要な接合部で万一千、施工不良があった場合、地震時に所定の免震性能が発揮されない恐れも生じる。特に免震基礎とベースプレ

ートの間のコンクリートの品質は極めて重要で、この部分のコンクリートは高強度が必要とされるほか充填性や平滑性といった高流動性、耐久性なども同時に求められる。免震建築物において最も重要な接合部で万一千、施工不良があった場合、地震時に所定の免震性能が発揮されない恐れも生じる。特に免震基礎とベースプレ

ートの間のコンクリートの品質は極めて重要で、この部分のコンクリートは高強度が必要とされるほか充填性や平滑性といった高流動性、耐久性なども同時に求められる。免震建築物において最も重要な接合部で万一千、施工不良があった場合、地震時に所定の免震性能が発揮されない恐れも生じる。特に免震基礎とベースプレ

ートの間のコンクリートの品質は極めて重要で、この部分のコンクリートは高強度が必要とされるほか充填性や平滑性といった高流動性、耐久性なども同時に求められる。免震建築物において最も重要な接合部で万一千、施工不良があった場合、地震時に所定の免震性能が発揮されない恐れも生じる。特に免震基礎とベースプレ